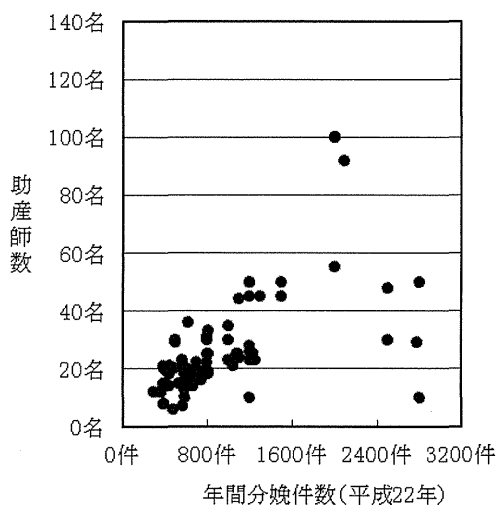


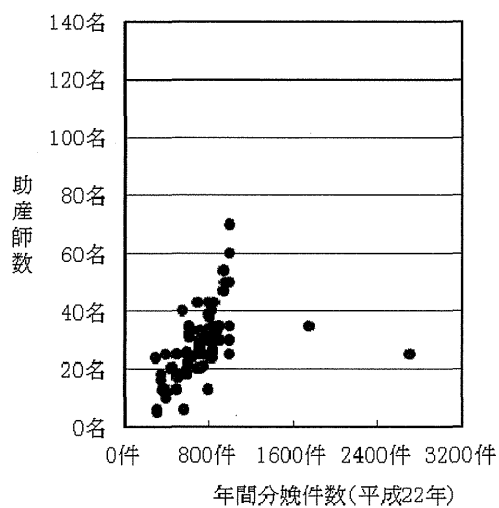
施設別の年間分娩件数と助産師数の散布(病院)

(施設別(病院))

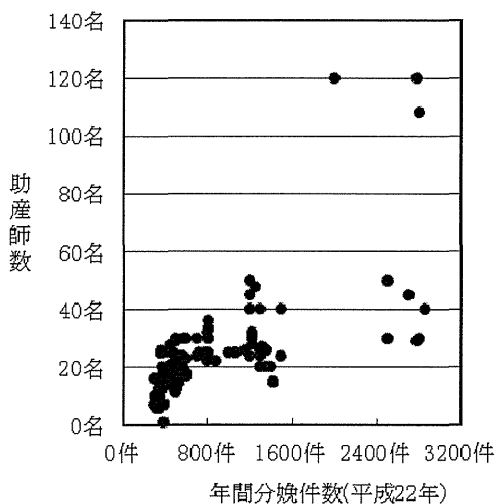
国・公立、行政法人総合病院



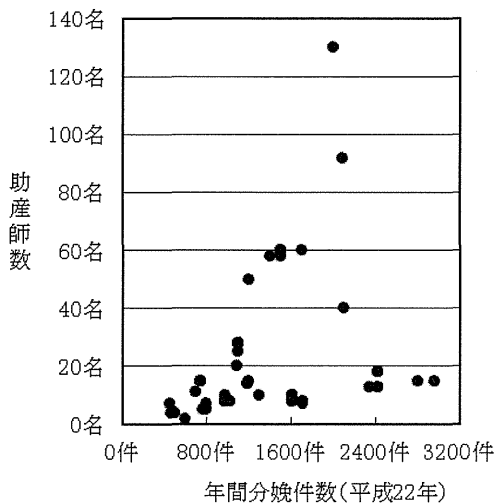
大学付属病院



民間総合病院



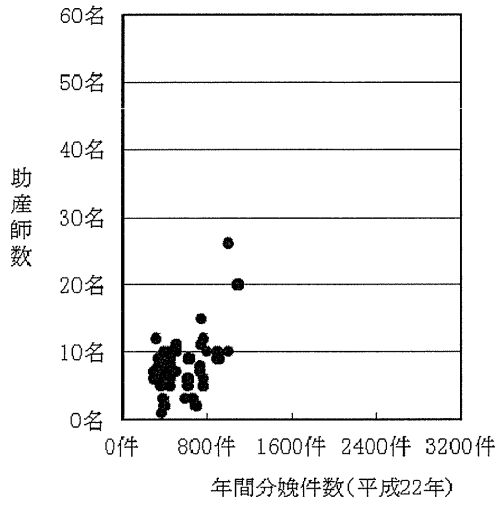
民間単科病院



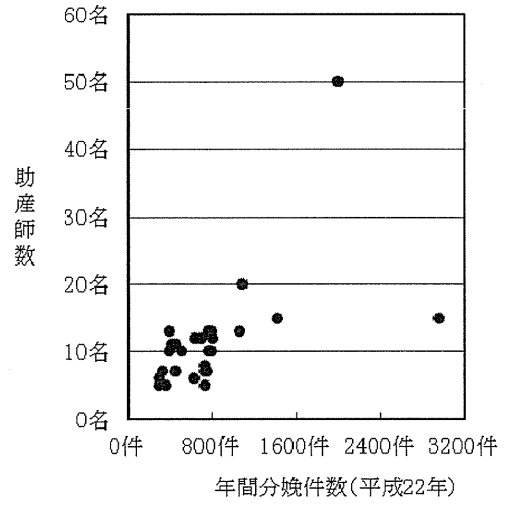
施設別の年間分娩件数と助産師数の散布(有床診療所)

(施設別(有床診療所))

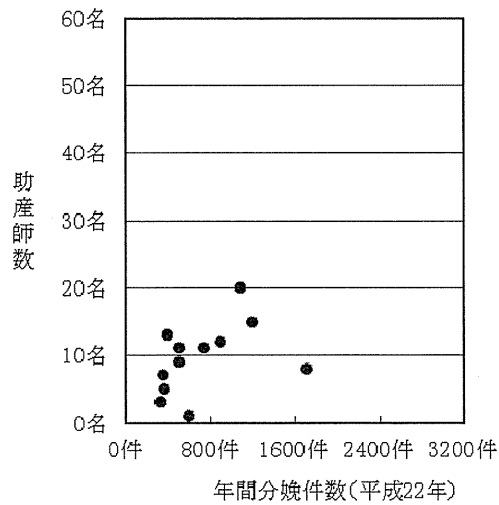
民間有床診療所(産科のみ)



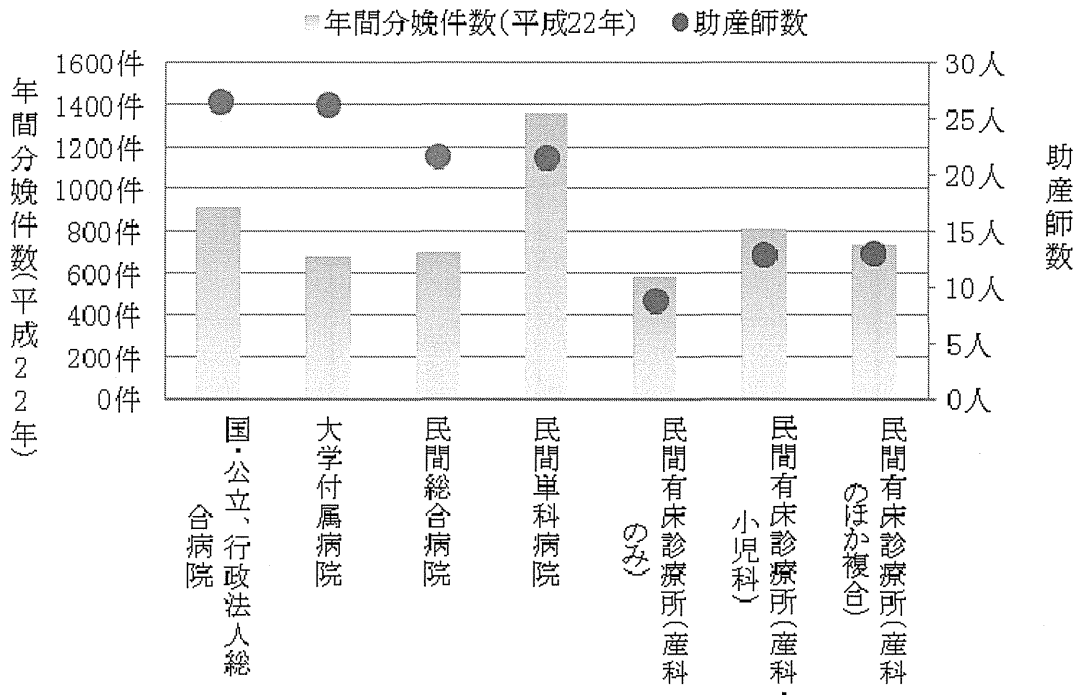
民間有床診療所(産科・小児科)



民間有床診療所(産科の他複合)



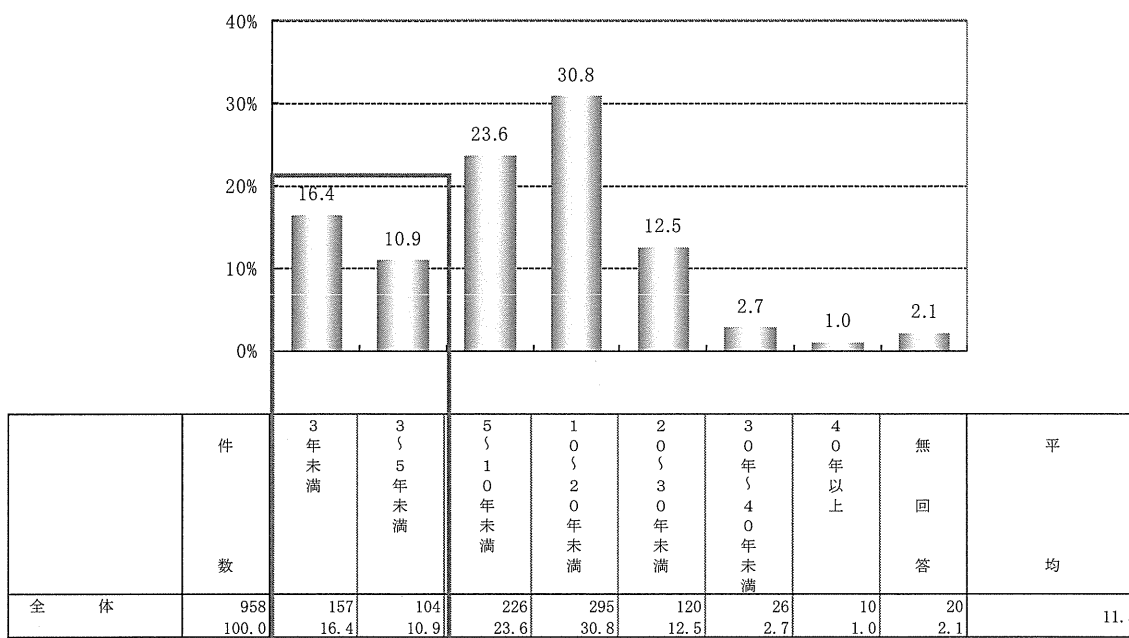
施設別の年間分娩件数と助産師数の平均値比較



年間分娩件数(平成22年)		サンプル数N	平均値
病院	国・公立、行政法人総合病院	108	913
	大学付属病院	164	686
	民間総合病院	216	702
	民間単科病院	65	1366
有床診療所	民間有床診療所(産科のみ)	87	584
	民間有床診療所(産科・小児科)	31	814
	民間有床診療所(産科のほか複合)	26	734

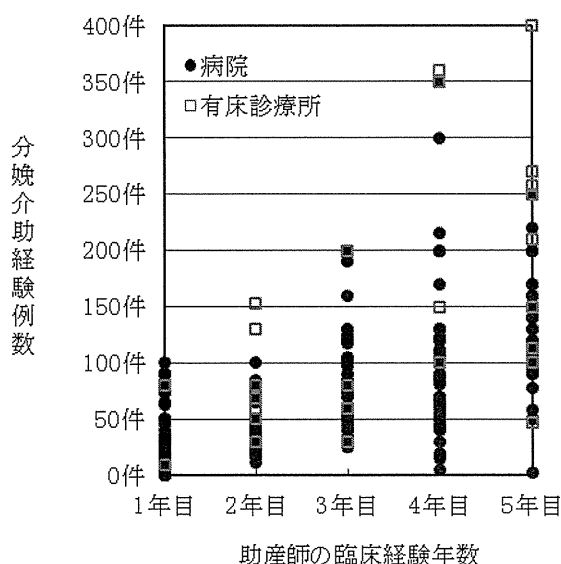
助産師数		サンプル数N	平均値
病院	国・公立、行政法人総合病院	103	27
	大学付属病院	164	26
	民間総合病院	216	22
	民間単科病院	65	21
有床診療所	民間有床診療所(産科のみ)	87	9
	民間有床診療所(産科・小児科)	31	13
	民間有床診療所(産科のほか複合)	26	13

臨床経験年数の分布



上段：件数(n) 下段：構成比(%)

病院、有床診療所別の臨床経験年数と分娩介助経験例数の散布（臨床経験5年目まで）



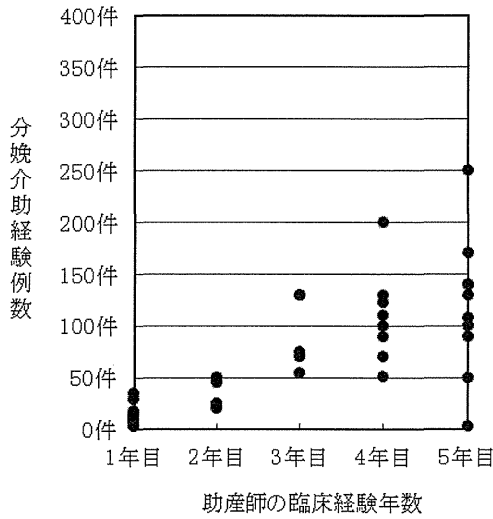
病院(n=207)：国・公立、行政法人総合病院、大学付属病院、民間総合病院、民間単科病院

有床診療所(n=31)：民間有床診療所（産科のみ）、民間有床診療所（産科・小児科）、民間有床診療所（産科の他複合）

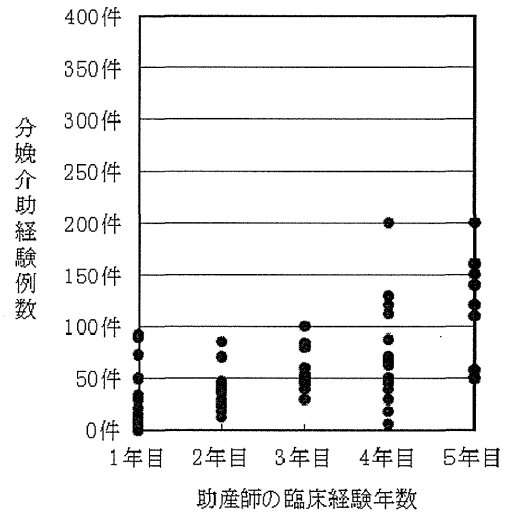
施設別の臨床経験年数と分娩介助経験例数の散布 (臨床経験 5年目まで)

(施設別(病院))

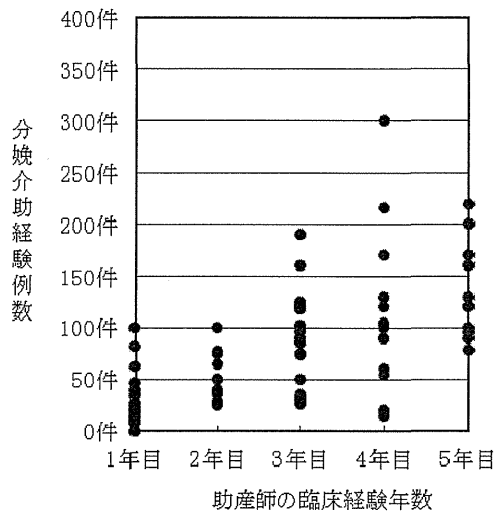
国・公立、行政法人総合病院(n=41)



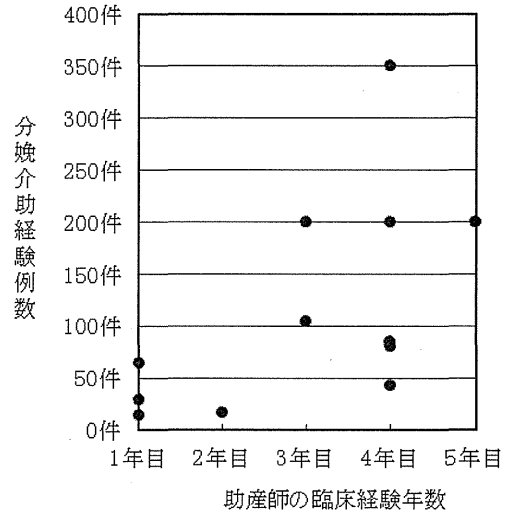
大学付属病院(n=76)



民間総合病院(n=78)

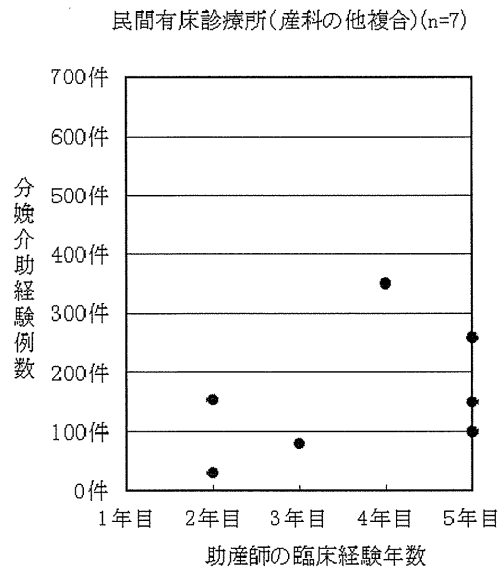
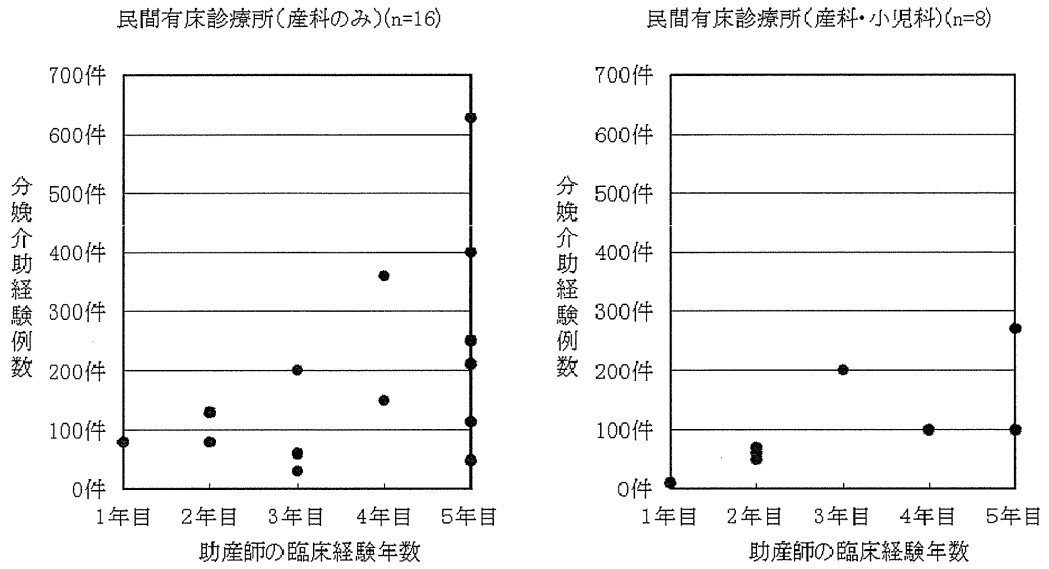


民間単科病院(n=12)

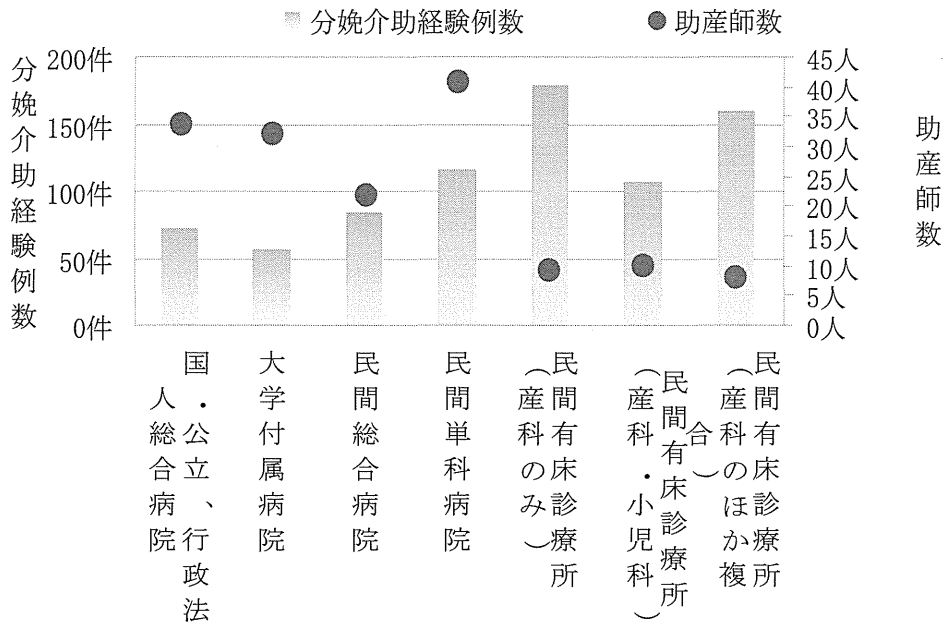


施設別の臨床経験年数と分娩介助経験例数の散布（臨床経験5年目まで）

(施設別(有床診療所))



施設別の分娩介助経験例数と助産師数の平均値比較（臨床経験5年目まで）



分娩介助経験例数		n	平均値	標準偏差
病院	国・公立、行政法人総合病院	41	71	60
	大学付属病院	76	56	45
	民間総合病院	78	85	77
	民間単科病院	12	116	102
有床診療所	民間有床診療所(産科のみ)	16	180	162
	民間有床診療所(産科・小児科)	8	107	86
	民間有床診療所(産科のほか複合)	7	160	110

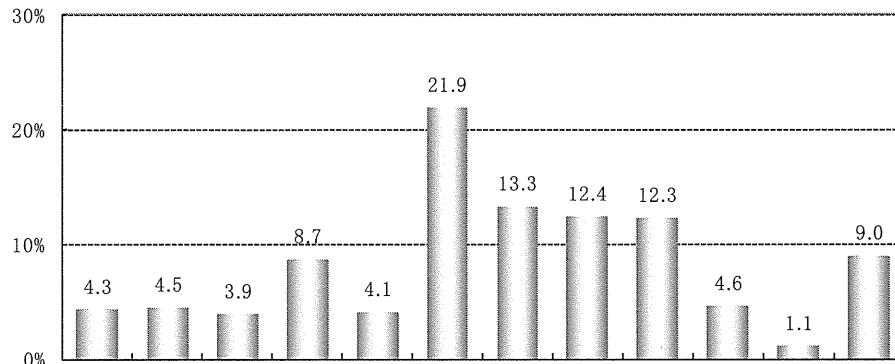
助産師数		n	平均値	標準偏差
病院	国・公立、行政法人総合病院	35	34	26
	大学付属病院	66	32	29
	民間総合病院	77	22	11
	民間単科病院	12	41	40
有床診療所	民間有床診療所(産科のみ)	17	9	6
	民間有床診療所(産科・小児科)	8	10	5
	民間有床診療所(産科のほか複合)	8	8	7

ローリスク妊娠期の対象を自立して担当する能力への自己評価

①診察技術（計測、触診、内診、エコー診ほか）を用いて

身体的にアセスメントする能力

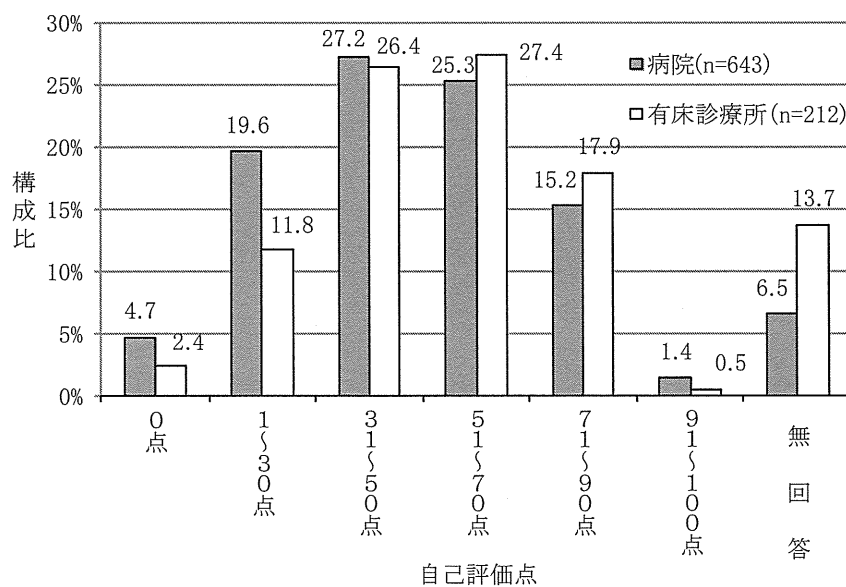
集団全体を以下の3群に注目すると「41～50点」210件（21.9%）、「51～60点」127件（13.3%）、「61～70点」119件（12.4%）であり、平均は52.8点であった。



	件数	0点	15~30点	31~40点	41~50点	51~60点	61~70点	71~80点	81~90点	無回答	平均			
全体	958	41	43	37	83	39	210	127	119	118	44	11	86	52.8
	100.0	4.3	4.5	3.9	8.7	4.1	21.9	13.3	12.4	12.3	4.6	1.1	9.0	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

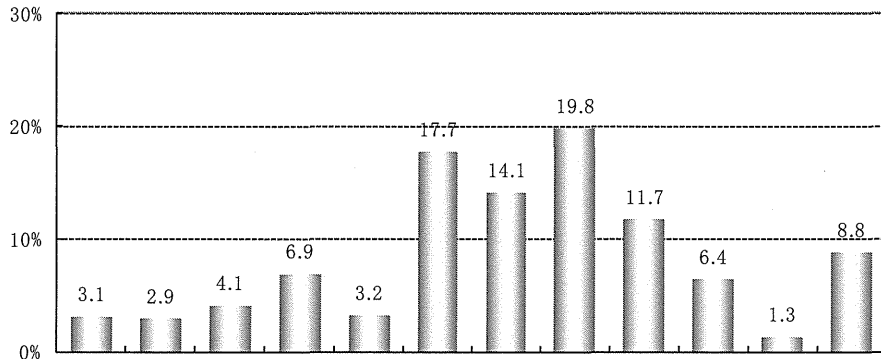
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク妊娠期の対象を自立して担当する能力への自己評価

②母児の身体的な正常経過を保持し、軽度の逸脱を正常へ戻す助産ケアする能力能力

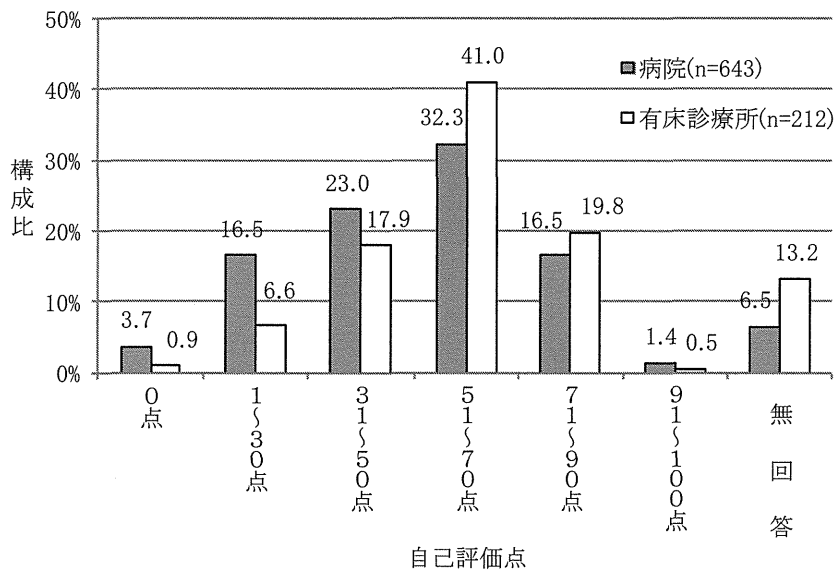
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」190件（19.8%）、「41～50点」170件（17.7%）、「51～60点」135件（14.1%）が、特徴項目となっており、平均は56.9点であった。



件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均	
全体	958	30	28	39	66	31	170	135	190	112	61	12	84	56.9
	100.0	3.1	2.9	4.1	6.9	3.2	17.7	14.1	19.8	11.7	6.4	1.3	8.8	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

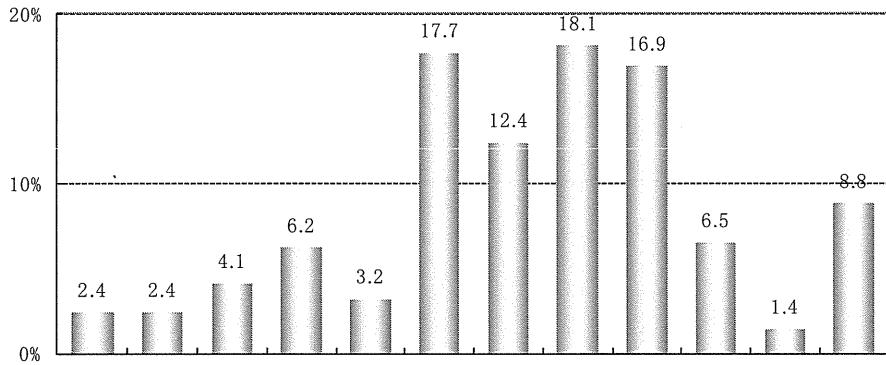
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク妊娠期の対象を自立して担当する能力への自己評価

③心理・社会的アセスメントを行い家族を含めた介入をし助産ケアする能力

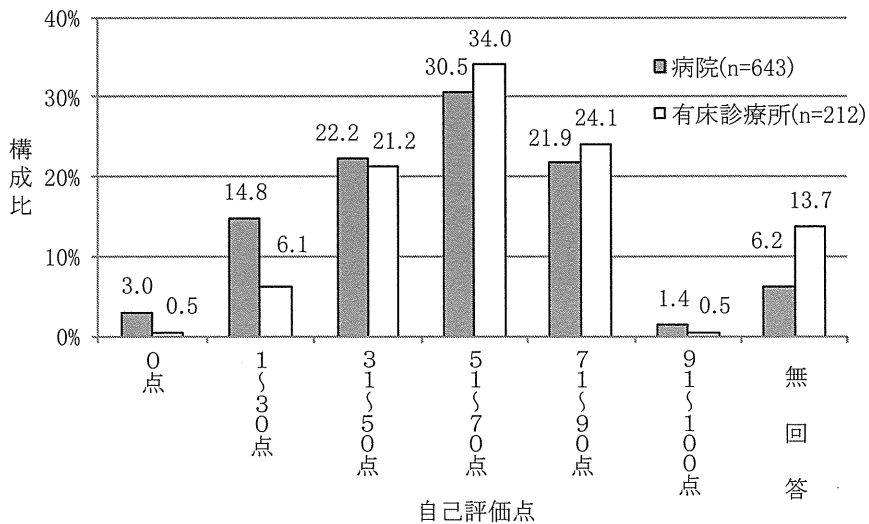
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」173件（18.1%）、「41～50点」170件（17.7%）、「71～80点」162件（16.9%）が、特徴項目となっており、平均は58.9点であった。



	件数	0点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均
全体	958	23	23	39	59	31	170	119	173	162	62	13	58.9
	100.0	2.4	2.4	4.1	6.2	3.2	17.7	12.4	18.1	16.9	6.5	1.4	8.8

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

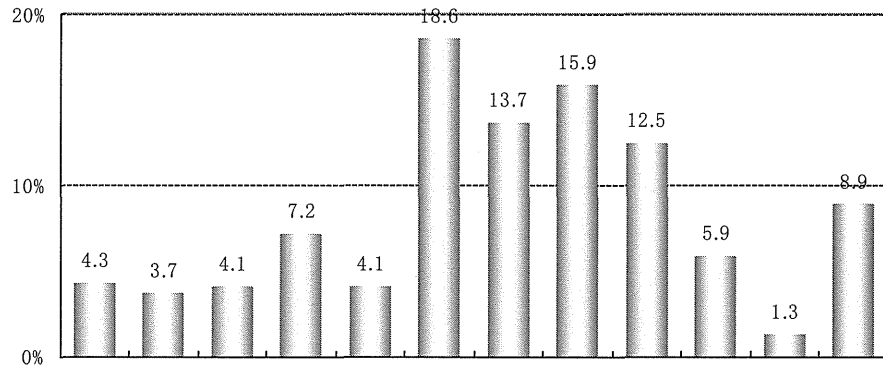
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク妊娠期の対象を自立して担当する能力への自己評価

④助産チームや関連する部門と連携し、周産期ケアをコーディネートする能力

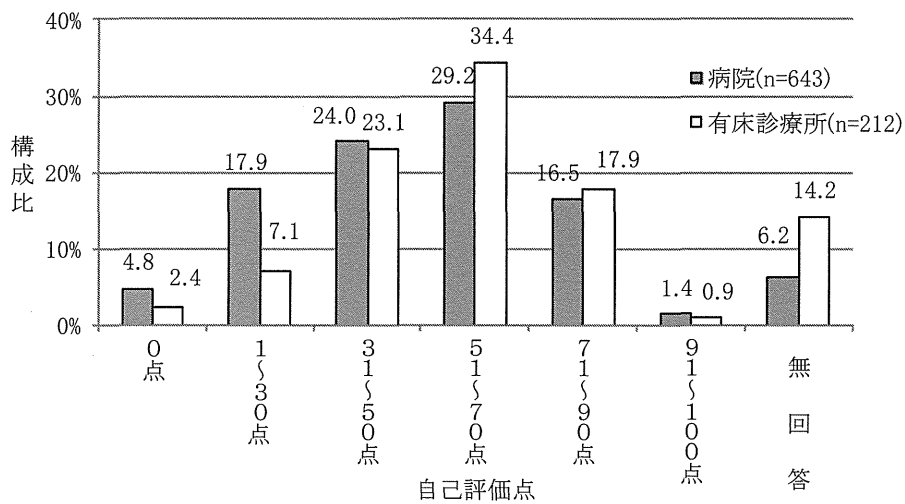
集団全体を以下の3群に注目すると「41～50点」178件（18.6%）、「61～70点」152件（15.9%）、「51～60点」131件（13.7%）が、特徴項目となっており、平均は54.9点であった。



	件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均
全体	958	41	35	39	69	39	178	131	152	120	57	12	85	54.9
	100.0	4.3	3.7	4.1	7.2	4.1	18.6	13.7	15.9	12.5	5.9	1.3	8.9	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

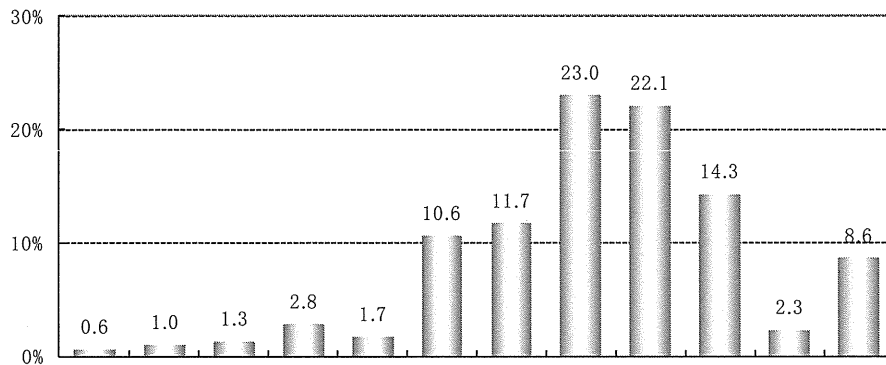
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

①妊娠期情報・入院時所見からアセスメントし、助産計画立案、実施する能力

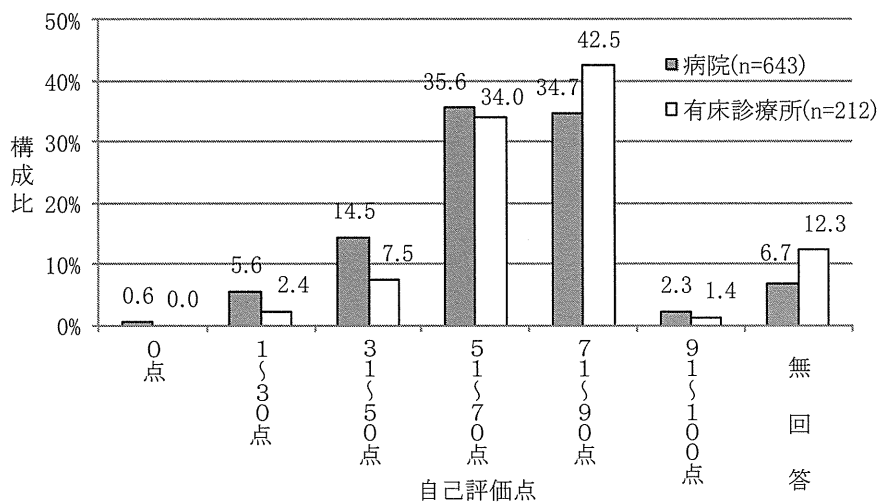
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」220件（23.0%）、「71～80点」212件（22.1%）、「81～90点」137件（14.3%）が、特徴項目となっており、平均は68.8点であった。



	件数	0点	10点	20点	30点	40点	50点	60点	70点	80点	90点	無回答	平均	
全体	968	6	10	12	27	16	102	112	220	212	137	22	82	68.8
	100.0	0.6	1.0	1.3	2.8	1.7	10.6	11.7	23.0	22.1	14.3	2.3	8.6	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

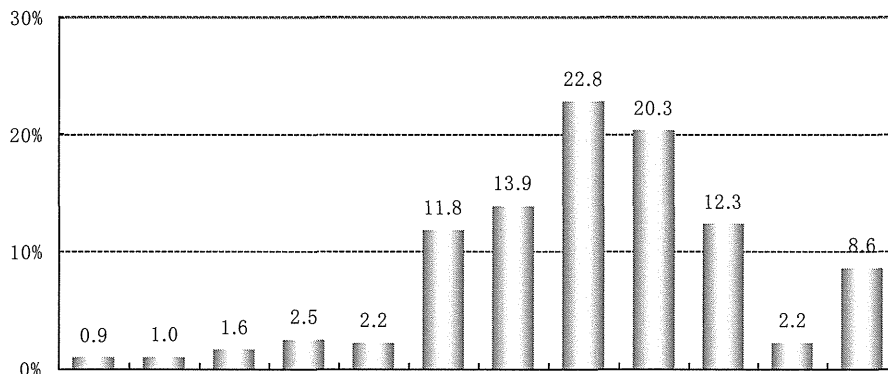
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

②正常からの逸脱を早期に発見し、正常経過を助長する助産ケア提供能力

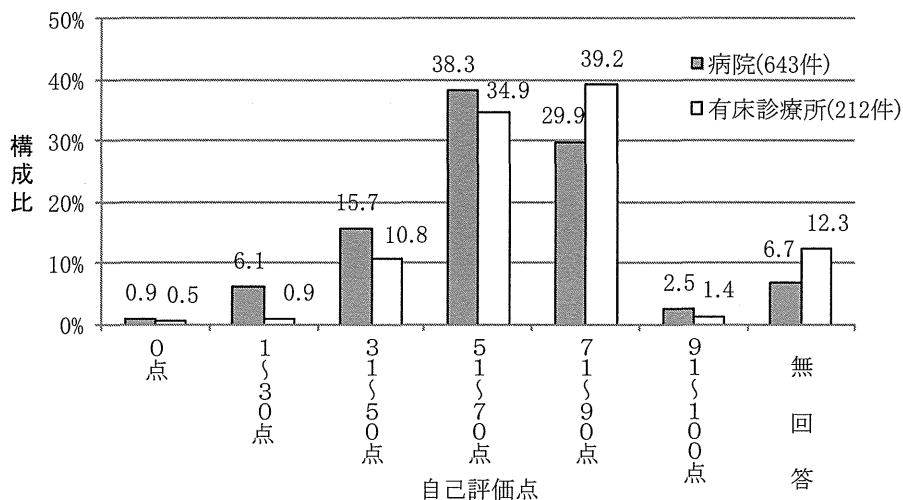
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」218件（22.8%）、「71～80点」194件（20.3%）、「51～60点」133件（13.9%）が、特徴項目となっており、平均は67.2点であった。



	件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均
全体	958	9	10	15	24	21	113	133	218	194	118	21	82	67.2
	100.0	0.9	1.0	1.6	2.5	2.2	11.8	13.9	22.8	20.3	12.3	2.2	8.6	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

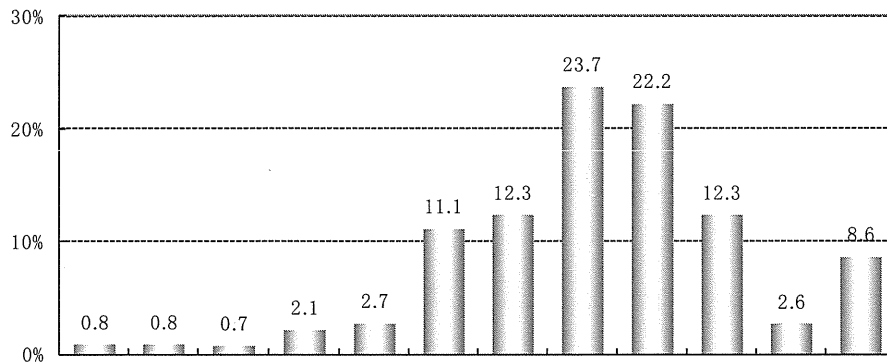
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

③産婦と家族に産痛緩和および主体的で満足感ある出産ケアを提供する能力

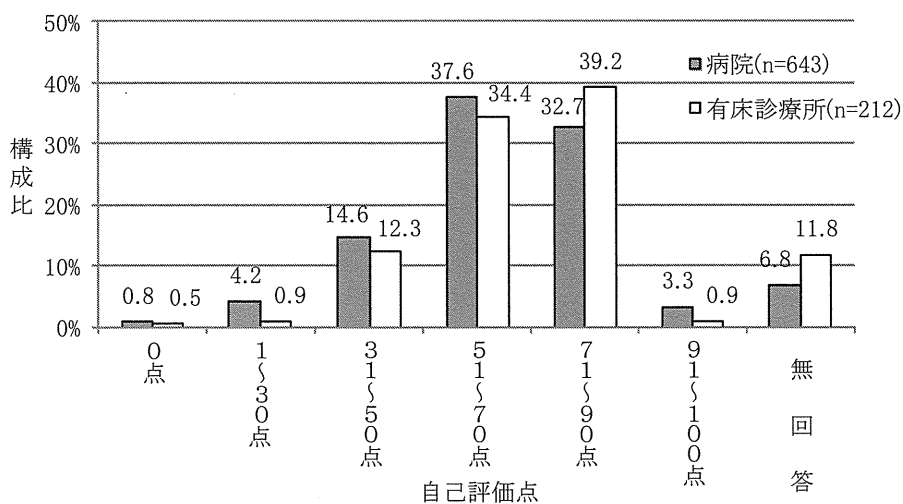
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」227件（23.7%）、「71～80点」213件（22.2%）、「51～60点」118件（12.3%）、「81～90点」118件（12.3%）が、特徴項目となっており、平均は68.6点であった。



	件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均
全体	958	8	8	7	20	26	106	118	227	213	118	25	82	68.6
	100.0	0.8	0.8	0.7	2.1	2.7	11.1	12.3	23.7	22.2	12.3	2.6	8.6	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

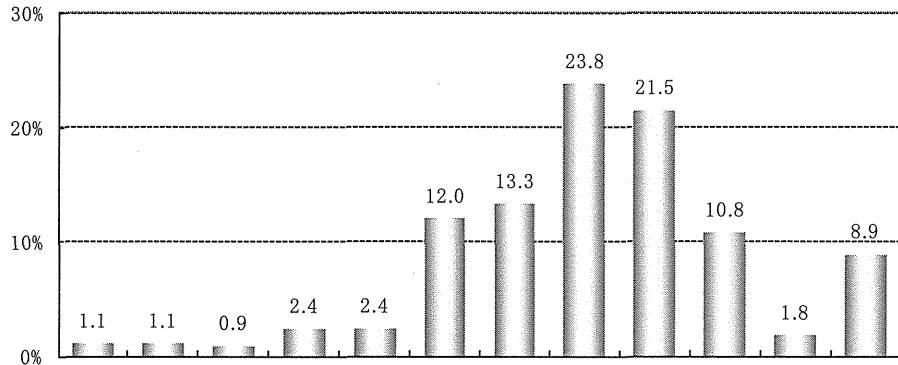
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

④胎児をWellnessな状態に保つ助産ケアを提供する能力

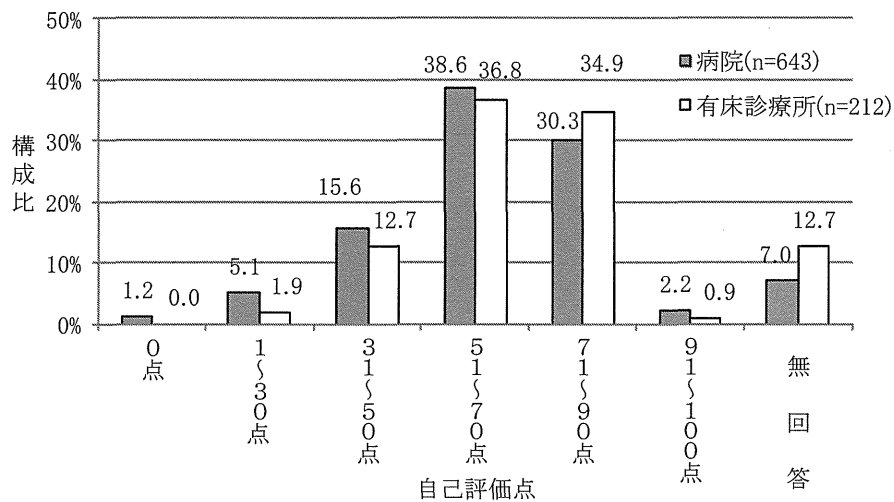
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」228件(23.8%)、「71～80点」206件(21.5%)、「51～60点」127件(13.3%)が、特徴項目となっており、平均は66.9点であった。



件数	0点	1～10点	1～20点	2～30点	3～40点	4～50点	5～60点	6～70点	7～80点	8～90点	9～100点	無回答	平均
全体	958	11	11	9	23	23	115	127	228	206	103	17	66.9
	100.0	1.1	1.1	0.9	2.4	2.4	12.0	13.3	23.8	21.5	10.8	1.8	8.9

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

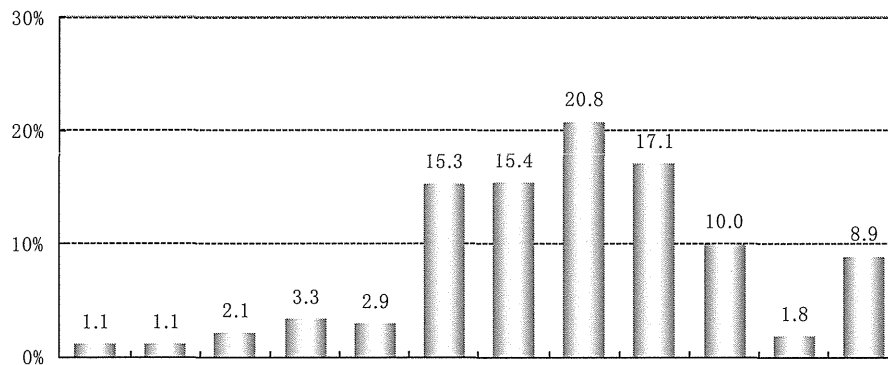
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

⑤母体をリラックスさせ分娩第2期会陰伸展を助長する助産期ケアを提供する能力

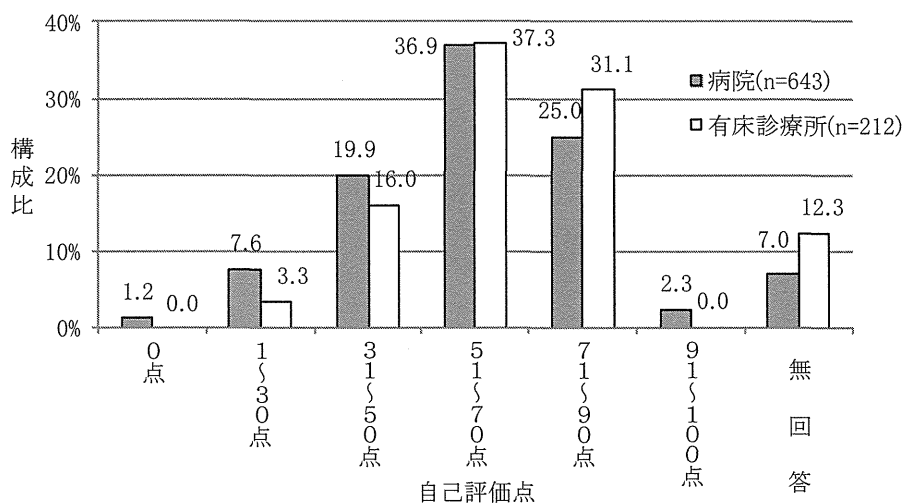
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」199件（20.8%）、「71～80点」164件（17.1%）、「51～60点」148件（15.4%）が、特徴項目となっており、平均は64.1点であった。



	件数	0点	11点	21点	31点	41点	51点	61点	71点	81点	91点	無回答	平均	
全体	958	11	11	20	32	28	147	148	199	164	96	17	85	64.1
	100.0	1.1	1.1	2.1	3.3	2.9	15.3	15.4	20.8	17.1	10.0	1.8	8.9	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

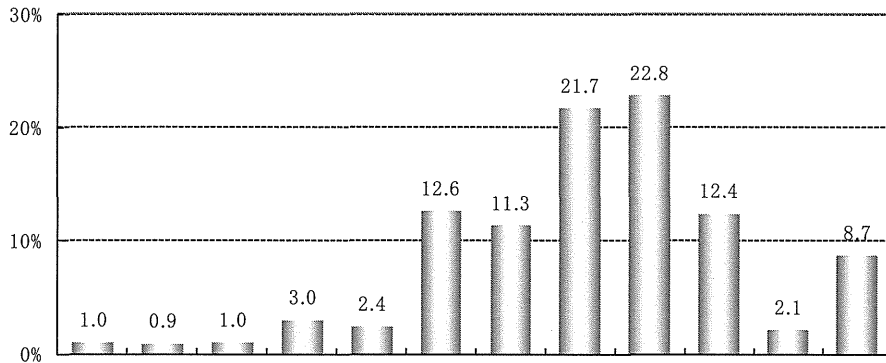
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

⑥安全に安楽に胎児娩出技術と胎盤娩出技術の能力

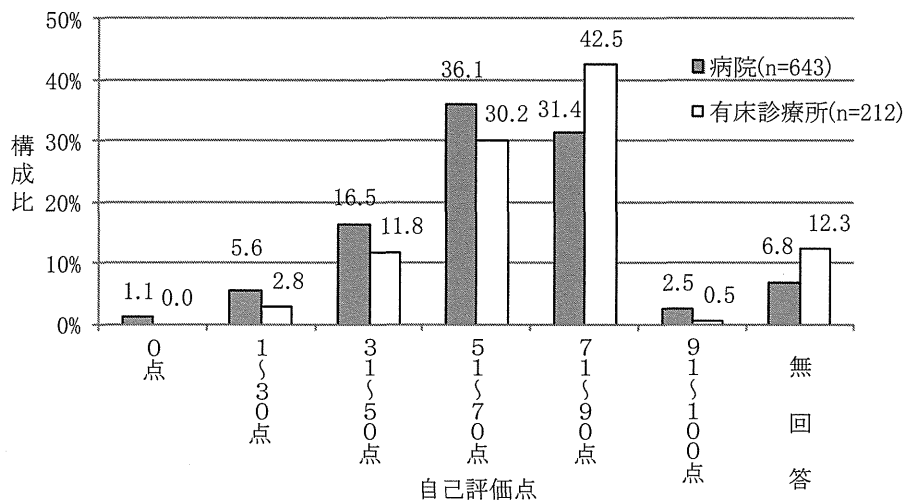
集団全体を以下の3群に注目すると「71～80点」218件（22.8%）、「61～70点」208件（21.7%）、「41～50点」121件（12.6%）が、特徴項目となっており、平均は67.5点であった。



	件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均
全体	958	10	9	10	29	23	121	108	208	218	119	20	83	67.5
	100.0	1.0	0.9	1.0	3.0	2.4	12.6	11.3	21.7	22.8	12.4	2.1	8.7	

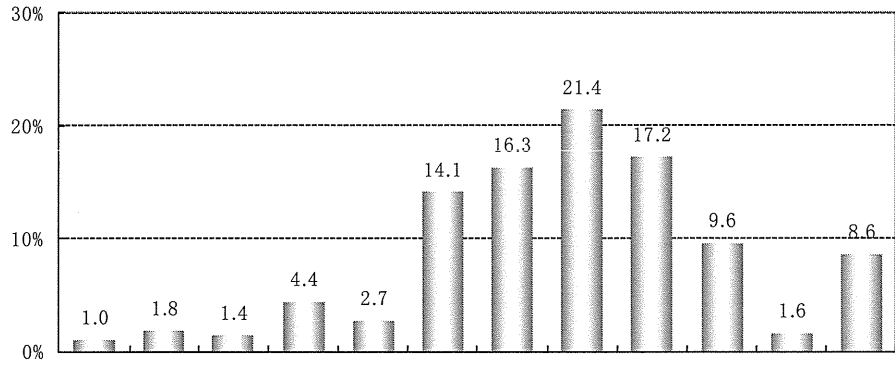
上段：件数(n) 下段：構成比(%)

病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価
 ⑦軟産道損傷を最小限にし、産婦を援助し胎児娩出ができる能力

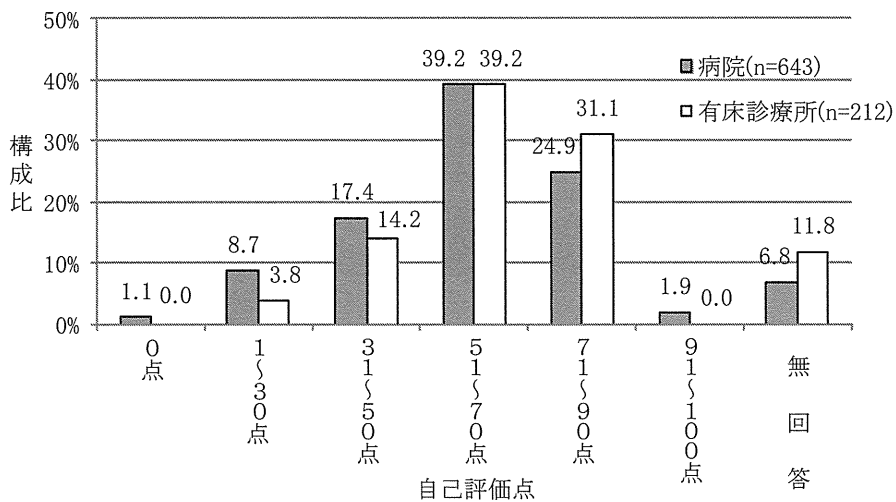
集団全体を以下の3群に注目すると「61～70点」205件（21.4%）、「71～80点」165件（17.2%）、「51～60点」156件（16.3%）が、特徴項目となっており、平均は63.8点であった。



	件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	無回答	平均	
全体	958	10	17	13	42	26	135	156	205	165	92	15	82	63.8
	100.0	1.0	1.8	1.4	4.4	2.7	14.1	16.3	21.4	17.2	9.6	1.6	8.6	

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

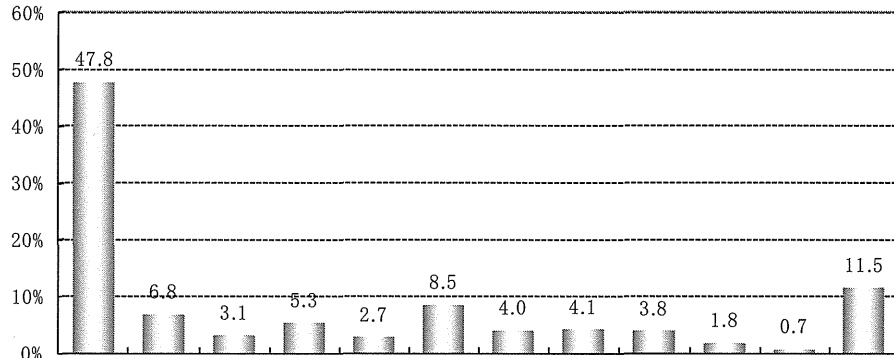
病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

⑧軟産道損傷に損傷が生じた場合の処置（会陰縫合術など）する能力

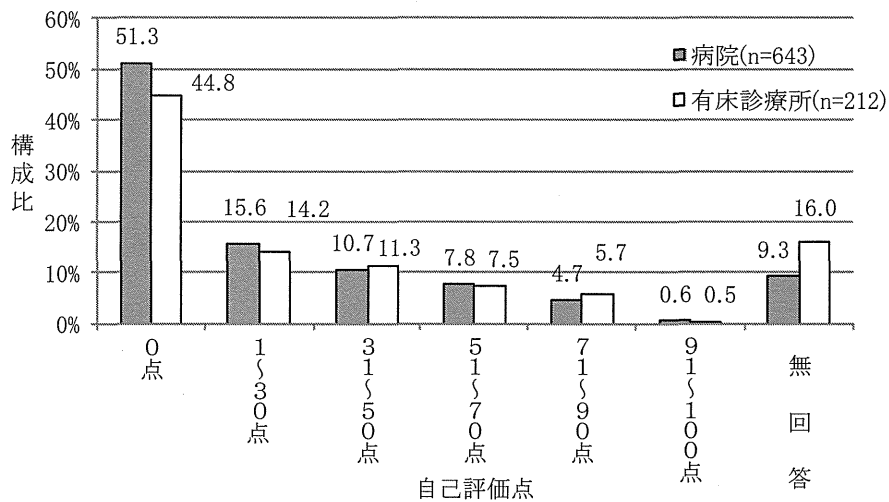
集団全体では、「0点」458件（47.8%）、「1～10点」65件（6.8%）、「41～50点」81件（8.5%）が特徴的で、平均は21.1点であった。



件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均
全体	458	65	30	51	26	81	38	39	36	17	7	110	21.1
	100.0	47.8	6.8	3.1	5.3	2.7	8.5	4.0	4.1	3.8	1.8	0.7	11.5

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

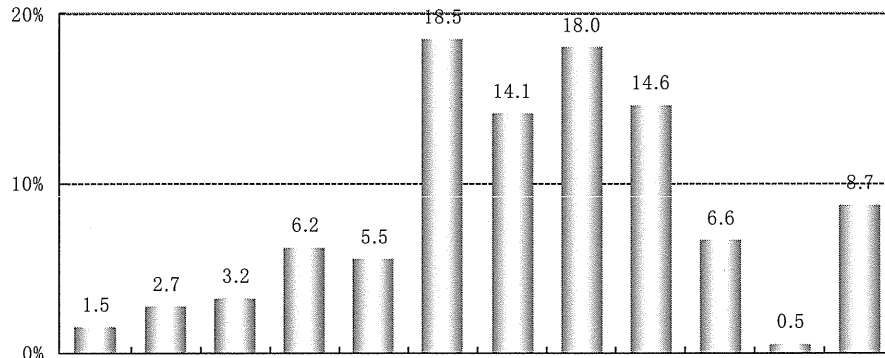
病院、有床診療所別自己評価（臨床経験5年目まで）



ローリスク分娩期の対象を自立して担当する能力への自己評価

⑨ 出生直後の新生児蘇生技術を実施する能力

全体で見ると「41～50点」177件（18.5%）、「61～70点」172件（18.0%）、「71～80点」140件（14.6%）が、特徴項目となっており、平均は58.2点であった。



件数	0点	1～10点	11～20点	21～30点	31～40点	41～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点	無回答	平均
全体	14	26	31	59	53	177	135	172	140	63	5	83	58.2
	100.0	1.5	2.7	3.2	6.2	5.5	18.5	14.1	18.0	14.6	6.6	0.5	8.7

上段：件数(n) 下段：構成比(%)

病院、有床診療所別自己評価の比較（臨床経験5年目まで）

